

グルカゴンGノボ注射用 1 m g

【この薬は？】

販売名	グルカゴンGノボ注射用 1 m g Glucagon G Novo Injection
一般名	グルカゴン（遺伝子組換え） Glucagon (Genetical Recombination)
含有量 (1 バイアル)	1mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、グルカゴン製剤と呼ばれる注射薬です。
- ・この薬は、肝臓に作用して、ブドウ糖を動員し血糖値を上昇させます。
- ・次の目的で、自己注射のため処方されます。

低血糖時の救急処置

- ・この薬は、医療機関において、適切な在宅自己注射教育を受けた患者または家族の方は、自己注射できます。自己判断で使用を中止したり、量を加減せず、医師の指示に従ってください。

- ・次の目的で、医療機関で使用されます。

消化管の X 線及び内視鏡検査の前処置

低血糖時の救急処置

成長ホルモン分泌機能検査

肝型糖原病検査

胃の内視鏡的治療の前処置

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・褐色細胞腫またはパラガングリオーマがある人およびその疑いのある人
- ・過去にグルカゴンGノボ注射用1 m gに含まれる成分で過敏症のあった人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・インスリノーマのある人
- ・糖尿病の人、糖代謝異常のある人
- ・糖原病Ⅰ型の人
- ・肝硬変など肝臓疾患のある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人
- ・心臓に障害のある高齢の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

〔低血糖時の救急処置の目的で自己注射する場合〕

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の使用する量は、グルカゴン（遺伝子組換え）として1 m gです。

●どのように使用するか？

1 バイアル（1 m g）を添付の注射用水1 mLに溶かし、筋肉内または静脈内に注射します。

溶解後は速やかに使用してください。

筋肉内に注射する場合には、神経走行部位を避けてください。繰り返し注射する場合は、同一部位を避けてください。

激しい痛みがあったり、血液が逆流したりした場合には、すぐに針を抜いて部位を変えて注射してください。

溶かしたときに、完全に溶けない場合や、浮遊物がみられた場合は使わないでください。

注射後、注射針を廃棄してください。

●効果が不十分な場合の対応

低血糖を生じた人にグルカゴンを使用すると通常10分以内に症状が改善しますが、症状が改善しない場合は、ただちに、ブドウ糖などの静脈内注射など適切な処置が必要です。ただちに受診してください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

嘔吐、吐き気、血清カリウム低下（筋力の低下、脱力感）などがあらわれることがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、ただちに医師に連絡してください。

〔医療機関で使用される場合〕

使用量、使用回数、使用方法などは、あなたの症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・患者さんや看護者（家族など）の方は、正しい使用方法、注射方法、低血糖について十分理解できるまで説明を受けてください。
- ・注射後に二次的な低血糖を起こすことがあります。低血糖症状に基づくめまい、ふらつき、意識障害を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転など危険を伴う機械を操作する際には注意してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用する可能性があることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシーショック	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、冷汗が出る、めまい、顔面蒼白、手足が冷たくなる
低血糖症状 ていけつとうしょうじょう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、疲れやすい、けいれん
頭部	めまい、意識の消失、意識の低下
顔面	顔面蒼白、血の気が引く
口や喉	喉のかゆみ
胸部	動悸
腹部	お腹がすく
手・足	手足が冷たくなる、手足のふるえ
皮膚	全身のかゆみ、じんましん

【この薬の形は？】

性状	本剤は白色の粉末または塊で、においはない。
----	-----------------------



【この薬に含まれているのは？】

有効成分	日局 グルカゴン（遺伝子組換え）
添加剤	乳糖水和物、塩酸

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と凍結を避け、冷蔵庫などの涼しいところ（1～15℃）で保管してください。
- ・溶解後は速やかに使用してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

●この薬の廃棄方法は？

- ・使用済みの針およびバイアルについては、医療機関の指示どおりに廃棄してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

(<https://www.novonordisk.co.jp>)

ノボケア相談室（フリーダイヤル）

電話：0120-180363

受付：月曜日から金曜日まで（祝日・会社休日を除く）

営業時間外 0120-359516